

ひょうぶ(企業探訪) ⑤

2021 学生が聞く

紙媒体での情報発信追究

印刷のほか、文具ブランド「神戸派計画」の商品開発、ウェブシステム事業を手掛ける。紙離れが言われる中、文字文化を育む業種として情報発信をサポートしている。甲南大学の西村順二教授のゼミ生が、武部健也社長を訪ねた。

—印刷業界の現状は。

「活字離れやペーパーレスで、斜陽産業の代表格とされます。この20年で市場規模は6割程度に縮小しましたが、事業者数も減り、多くは売り上げ規模を維持できています。印刷は、やせ細ってもゼロにはなりません。地域の情報発信を支え続けるためにも、他の事業を伸ばします」

—神戸派計画に力を入れる狙いは。

「文具の世界では、万年

大和出版印刷(神戸市東灘区) 武部健也社長(53)



大和出版印刷の武部健也社長(右)を訪ねた深山望彩さん(左)と津田大輝さん。いずれも神戸市東灘区向洋町東2

筆やガラスペンが注目されも増えています」

「書くこと、思いを伝える手間などが、書く行為にこだわる人にはいいとおし

く感じられるようで、多彩なインク沼にはまる人たちの商品がその一助にな

る狙いは。

メモ
1948年設立。2021年8月期の売上高約6億円。従業員35人(アルバイトなど含む)、平均年齢約40歳。22年春の採用予定はなし。神戸市東灘区向洋町東2の7の2。☎078・857・2355

大和出版印刷が手掛ける文房具



ればと。性別に関係なく手にしやすく、どこか神戸らしさを感じさせる商品を心掛けています」

—持続可能な開発目標(SDGs)の実現に向けた取り組みは。

「

「印刷業界は紙を大量に使うため、環境に良くないと思われがちですが、再生紙の利用促進、空調効率などを高める排気設備の整備、電力使用量の削減などに努めています」

—働く上で大切にしていることは。

「人の役に立つこと、正しいこと。捨てられない印刷物を作りたいと考えています。メディアは時代とともに変化しますが、紙媒体は何年たっても残ります。紙の特性をどう生かせるか突き詰めます」

(まとめ・赤松沙和)

〓おわり〓

